

平成26年度地域懇談会のまとめ

6月13日（金）午後7時30分から、山城中学校の各教室で、地域懇談会が開かれました。内容は、PTA本部役員や学校の挨拶のあと、学校の様子を学年ごとにお聞きし、その後それぞれのテーマに沿って懇談、というものでした。懇談の内容等、簡単に報告させていただきます。

○学校の様子（各学年の先生方から）

1年・・・中学生活に慣れてきて、次の授業の準備等も出来るようになってきた。授業は落ちついてきているし、部活動を通じて生徒達が挨拶を出来るようになってきた。しかし、家庭学習は2時間を指導しているが、実施出来ているのは7割程度で、忘れものが多い。今は、生活面に対して個別の生活相談を実施している。

2年・・・しっかり挨拶が出来ており、朝は（先生方が）挨拶で迎えられる。部活動では2年生も頑張っているが、家庭学習の2時間があまり出来ていない時がある。

3年・・・3年を迎え明るく元気に過ごし、授業も落ち着いている。授業の3分前着席も素晴らしく出来ている。部活動は頑張っていて、各部で成果を出している。受験に対して徐々に意識が高まってきているが、いまだに高まっていない生徒もいる。家庭学習・補習ともに頑張って、受験に向けていきたい。

○懇談内容

上粕地区では、上粕小学校前の道路が狭く、自動車との事故が起こる危険性も高いことから、通学路について話し合いました。保護者から、中学校から安全な通学路の指定をしてもらえないか、新しくできたバイパスの使用を推奨してもらえないか、等の要望がありましたが、バイパスは民家がなく連れ去りが怖い、などの意見もありました。中学校では、小学校のような指定した通学路はないそうですが、バイパスを始め、一番安全な道を使用するよう指導してもらっているようです。子どもたち自身の道路のマナーも含め、学校でも家庭でもしっかり声かけをしていくこと、何事も安全面重視で検討していくことを確認しました。また、上粕地区でも、スマートフォンの使用についての話が出ていました。



棚倉地区では、子どもたちの状況から、携帯電話・スマートフォン等の使い方について話し合いました。山城中学校では、近隣の学校と比べても、スマートフォンの所持率が高く、学校でも扱い方の指導には力を入れてもらっているようですが、家庭では、寝る時間や家族との時間を削ってLINEでのおしゃべりやゲームをしている状況があります。また、直接言えない噂や悪口・個人情報等をLINEに書き込むことによって不快な思いをしている子どももいるようです。

そこで、子どもにインターネットができる機器（スマートフォン、パソコン等）を与える場合には、「悪口は書き込まない」「使用時間を決めるなど、各家庭でのルールを決める事が必要です。また、迷惑メールなどのおいしい情報に引っかかりトラブルに巻き込まれる可能性もあり、保護者としても、これらの危険性について学んでおく必要あると思います。

